

平成 27 年度知財功労賞「経済産業大臣表彰」を受賞

平成 27 年 4 月 17 日

平成 27 年 4 月 17 日、富士フイルムホールディングス株式会社(社長:中嶋 成博)は、経済産業省 特許庁より、平成 27 年度知財功労賞において「経済産業大臣表彰」を受賞いたしました。

知財功労賞は、知的財産権制度の発展、および普及・啓発に貢献のあった個人や、制度を有効に活用して円滑な運営・発展に貢献した企業を選出し、経済産業省 特許庁が毎年、表彰するものです。

当社の主な受賞のポイントは以下の通りです。

- 急速なデジタル化の進展による写真フィルムの需要減に直面するなかで、「第二の創業」を目指し、保有技術を軸に、化粧品・医薬品等、事業の多角化を推進。各事業に即した知財活動を目指し、事業部毎に知財戦略書を作成し、事業部・RD 部門と三位一体になった活動を展開した。
- 写真フィルムのベースに使われていた TAC フィルムを液晶ディスプレイの偏光板用保護フィルムに応用するなかで、TAC 製膜技術において、積極的な特許の出願とノウハウ秘匿という「オープン・クローズ戦略」を推進した。特許の出願に関しては、製造工程毎に複数の発明を創出し、強靱な特許ポートフォリオを構築した。
- 海外メーカーから提起されたデジタルカメラ特許侵害訴訟において、最後まで戦い抜く姿勢を貫き、控訴審で勝訴判決を得ることに成功した。他社の知的財産権を尊重する一方で、権利範囲を不当に拡大解釈し、権利行使を行う特許権者に対して、断固とした態度で臨む姿勢を示した。

富士フイルムホールディングスは、コーポレートスローガン「Value from Innovation」のもと、事業貢献度の高い知的財産の構築にグループ全体で取り組んでいます。今後も、企業活動により生まれた知的財産権の保護・活用をグローバル規模で積極的に進めるとともに、世界中のお客様の真のニーズを徹底的に追求し、先進・独自の技術で、社会に価値ある商品やサービスの提供を通じて、社会課題の解決に貢献していきます。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<報道関係>

富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室 TEL 03-6271-2000

<その他お問い合わせ>

富士フイルム株式会社 知的財産本部

TEL03-6271-3183